

# 株式会社 アルバック

## 2026年6月期 第3四半期 決算説明資料

2025年7月～2026年3月

2026年5月12日

### 将来見通し等に関する記述についての注意事項

- **将来見通しについて**  
本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・ディスプレイ・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- **数字の処理について**  
本資料に記載の数字・比率につきましては、単位未満四捨五入で処理しております。
- **品目別の各数値について**  
管理上の数値ベースで掲載しております。

ULVAC

## 1. 2026年6月期第3四半期 連結業績概要

- 受注高：四半期および3Q累計で過去最高を達成
- 売上総利益率：3Q 32.0%（2Q比+2.9pt）

## 2. 2026年6月期 業績予想

- 受注高： **3,100億円**（前回予想比+300億円） **過去最高水準へ上方修正**
- 営業利益：190億円（前回予想比▲95億円）EV関連費用計上等の一過性要因により下方修正

→ 高利益率案件（半導体・レアアース関連）の豊富な受注残を背景に来期からの挽回を目指す

## 3. 中長期経営計画（バリューアッププラン）進捗

- 成長戦略：長期的施策の結実による、ビジネス領域のさらなる拡大
- 事業改革・生産改革：初期成果発現



■ **2026年6月期第3四半期 連結業績**

■ 2026年6月期 業績予想

■ 中長期経営計画（バリューアッププラン）進捗

# 2026年6月期第3四半期 連結業績概要

» 受注高：四半期および3Q累計で過去最高を達成

» 売上総利益率：32.0%（2Q比+2.9pt）／営業利益率：EV関連費用計上等により改善は限定的

【単位：億円】	2025/6期						2026/6期					
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	前年同期比	
受注高	509	655	475	1,639	617	2,256	604	767	991	2,362	+723	+44%
売上高	610	739	529	1,877	635	2,512	527	712	677	1,916	+39	+2%
売上総利益	191	238	176	605	193	799	157	207	217	580	-25	-4%
率	31.3%	32.2%	33.3%	32.2%	30.5%	31.8%	29.7%	29.1%	32.0%	30.3%	-2.0pt	
販管費	134	142	122	398	136	533	134	145	154	433	+35	+9%
営業利益	58	96	54	208	58	265	23	62	63	147	-60	-29%
率	9.4%	13.0%	10.2%	11.1%	9.1%	10.6%	4.3%	8.7%	9.2%	7.7%	-3.4pt	
経常利益	69	92	61	221	65	286	25	67	54	145	-76	-34%
率	11.3%	12.4%	11.5%	11.8%	10.2%	11.4%	4.7%	9.4%	7.9%	7.6%	-4.2pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	67	27	131	36	167	17	45	29	91	-40	-30%
率	6.1%	9.0%	5.1%	7.0%	5.6%	6.6%	3.2%	6.4%	4.3%	4.8%	-2.2pt	

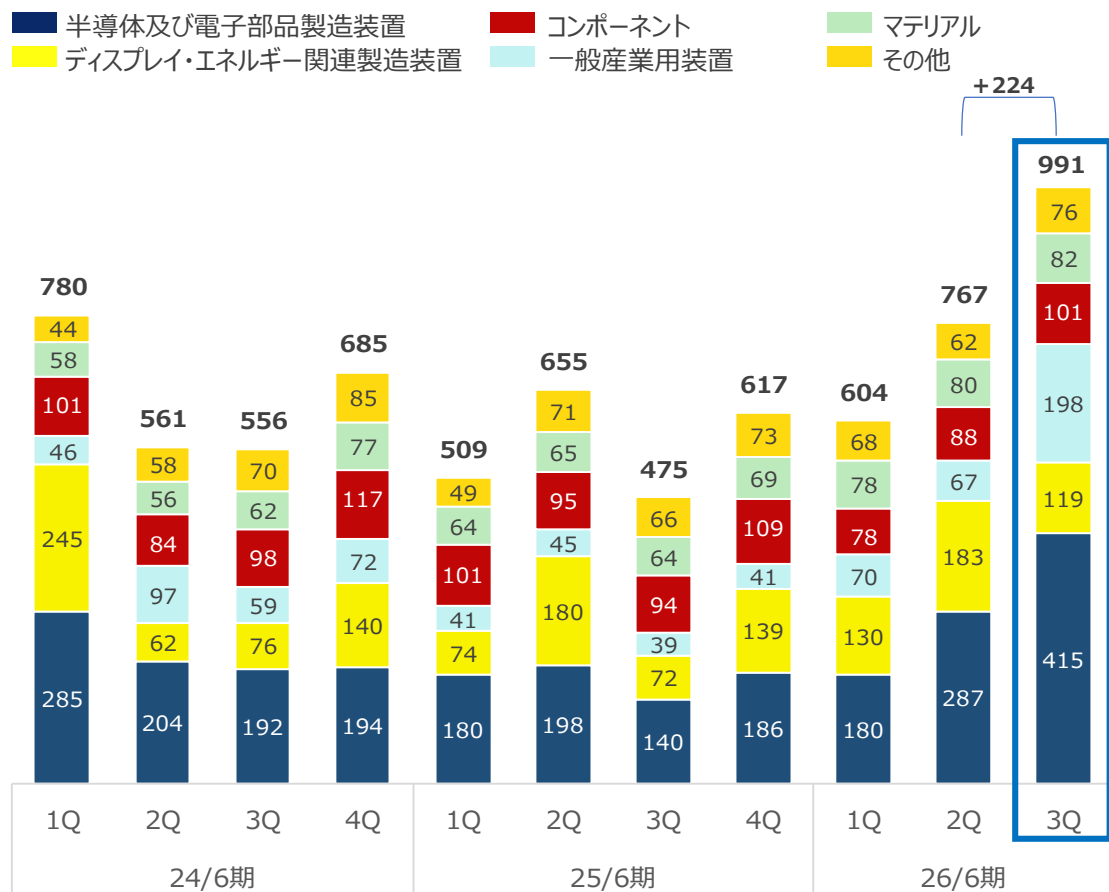
# 受注高・売上高実績（四半期推移）

» 受注高：半導体・一般産業（レアアース関連）等が増加し、四半期で過去最高を達成

» 売上高：半導体電子の構成比増加

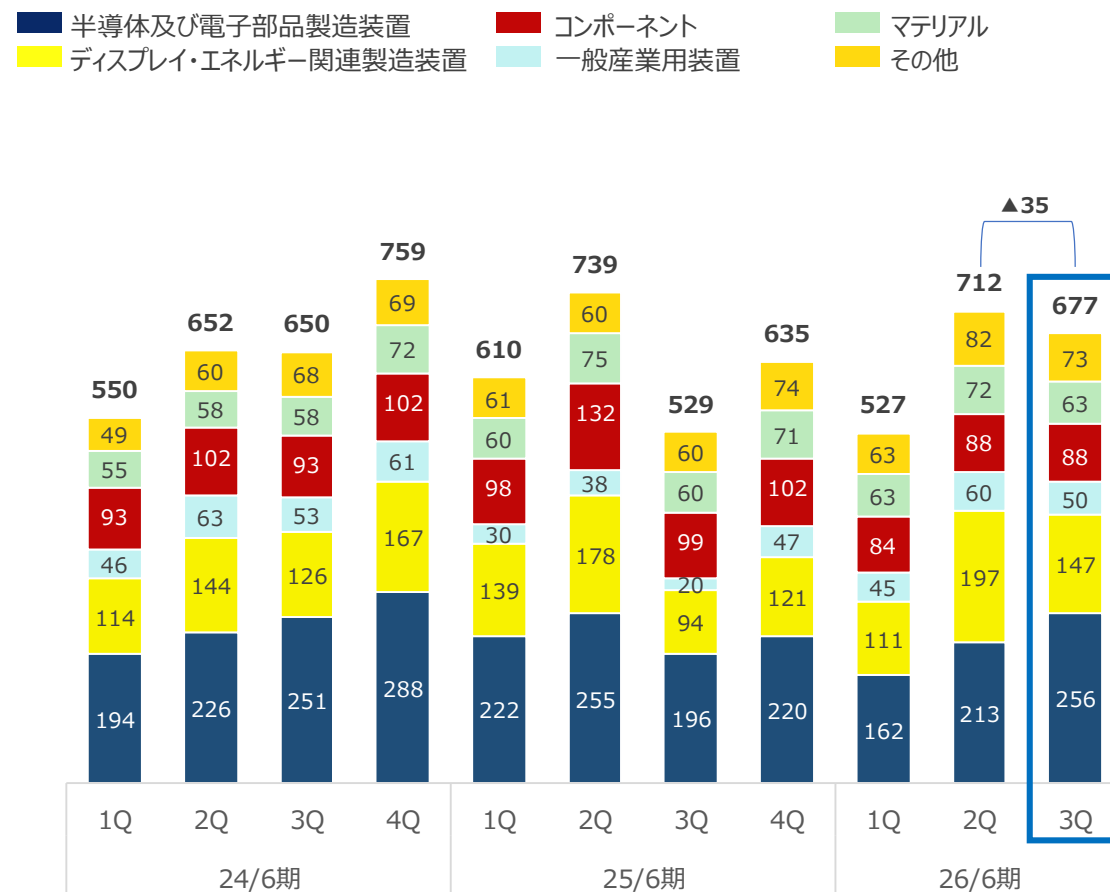
## 受注高

【単位：億円】



## 売上高

【単位：億円】

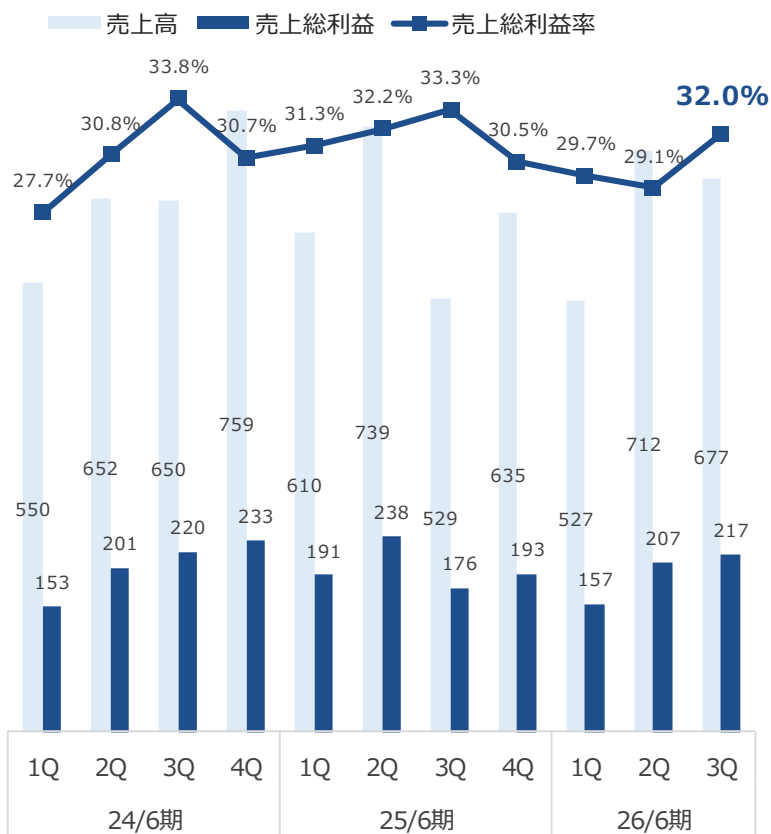


※ 26/6期より、リークテスト装置の受注高および売上高の分類を、コンポーネントから一般産業へ変更

- ▶ 売上総利益率：利益率の高い半導体関連の売上増加によるミックス改善等で32.0%（2Q比+2.9pt）
- ▶ 営業利益率：EV関連費用計上等により改善は限定的（2Q比+0.5pt）

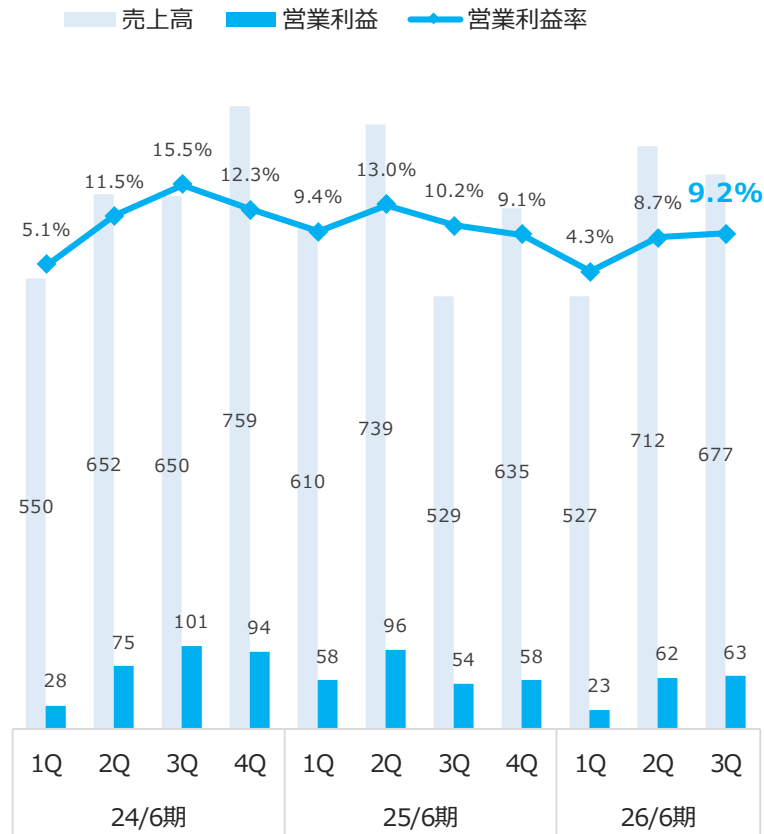
## 売上総利益率

【単位：億円、%】



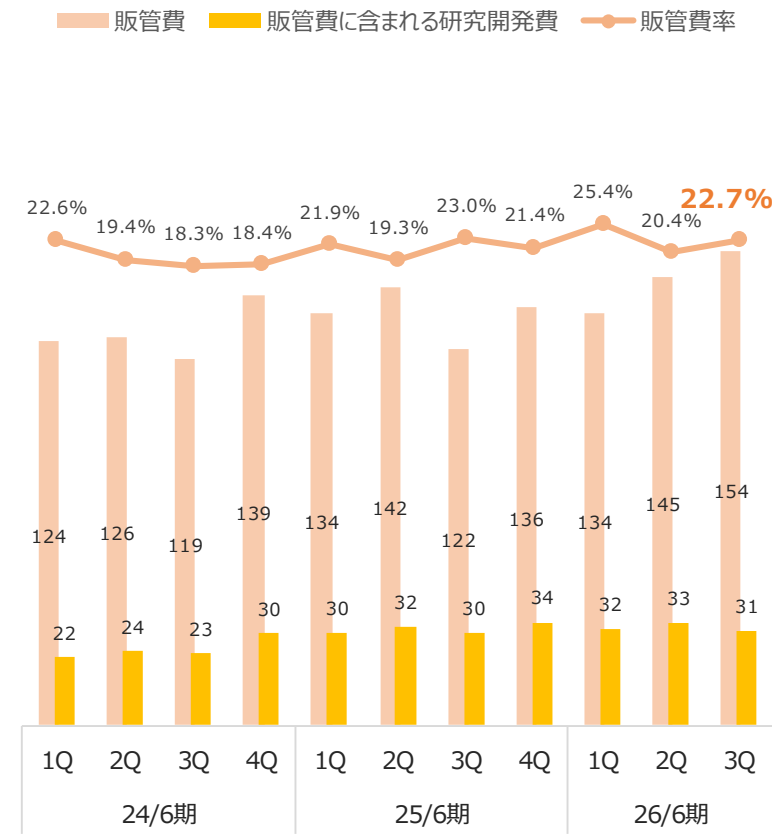
## 営業利益率

【単位：億円、%】

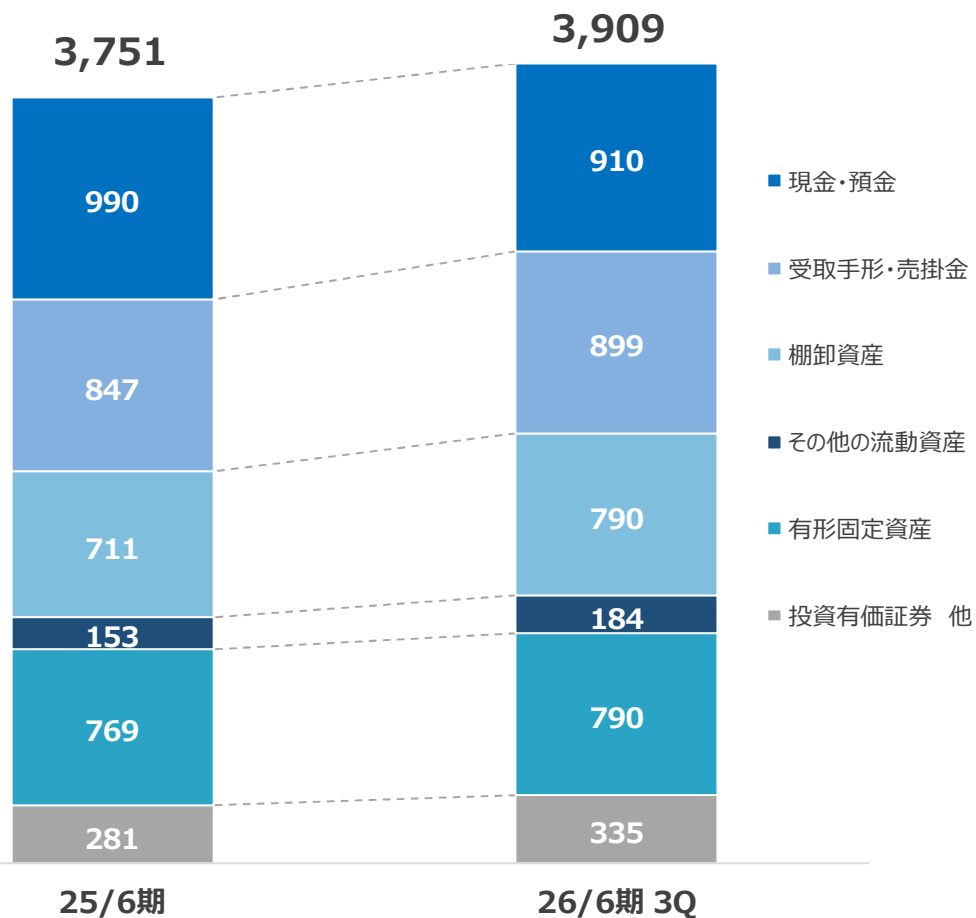


## 販管費率

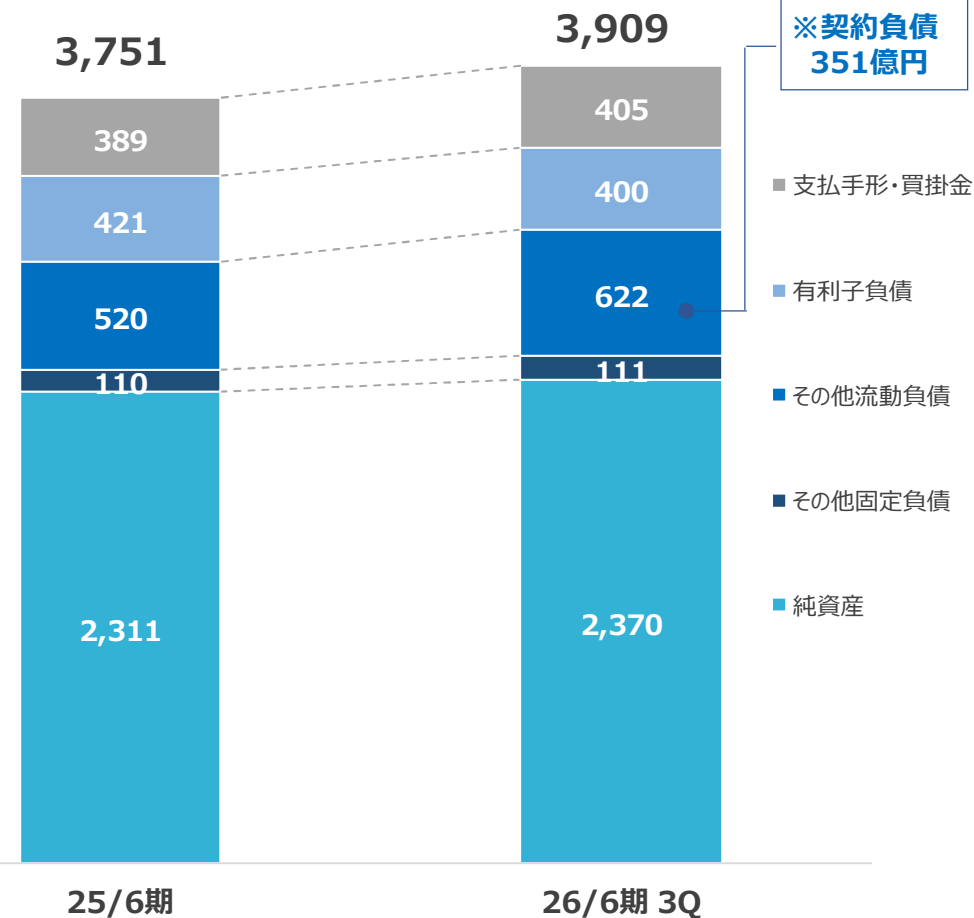
【単位：億円、%】



## 資産 【単位：億円】



## 負債・純資産 【単位：億円】





| 2026年6月期第3四半期 連結業績

| **2026年6月期 業績予想**

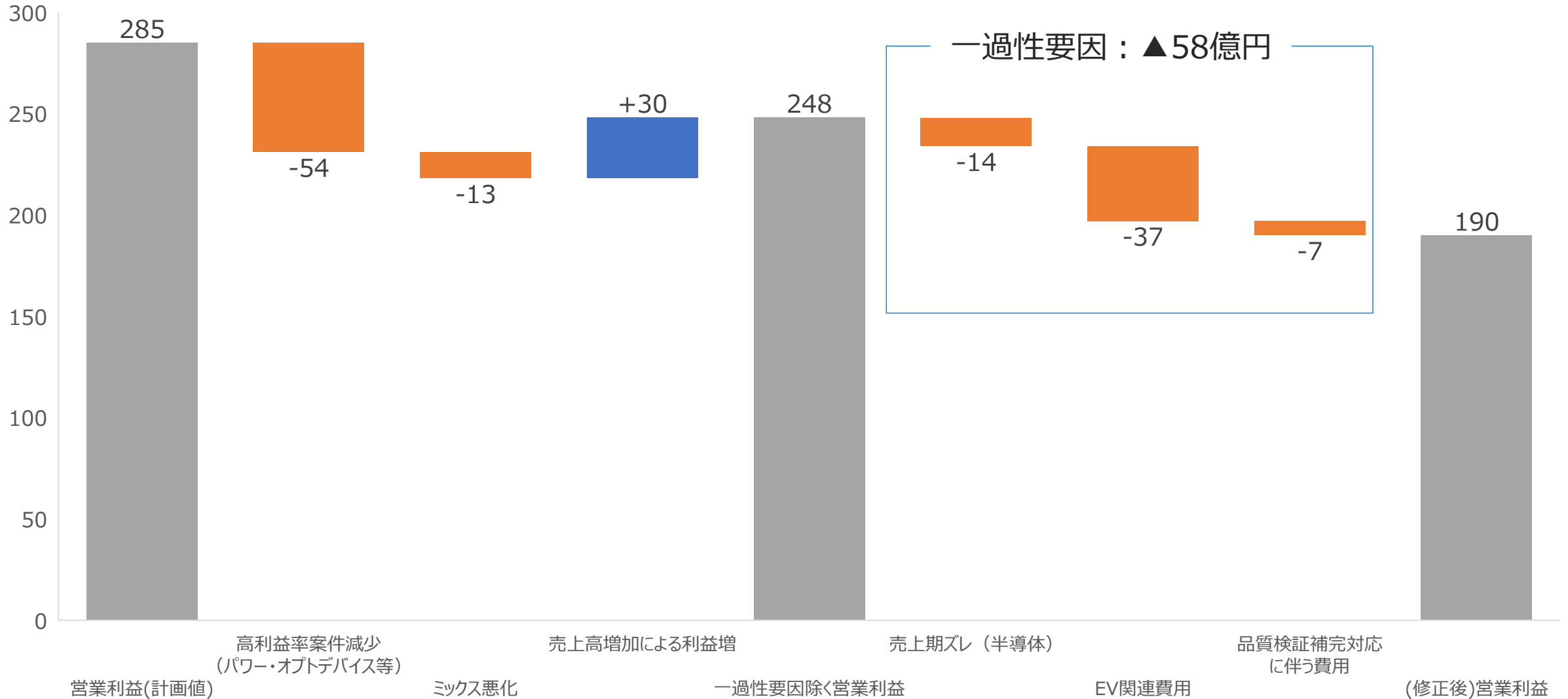
| 中長期経営計画（バリューアッププラン）進捗

# 2026年6月期 業績予想

- » 受注高 : 過去最高水準の**3,100**億円（前回予想比+300億円、YoY+844億円）へ上方修正
- » 営業利益 : EV関連費用等の一過性要因により 190億円（前回予想比▲95億円）へ下方修正
- » 配当予想 : 期首の配当性向（40.4%）を維持し、152円（前回予想比▲12円）へ修正

【単位：億円】	25/6期	26/6期			前期比		前回予想比	
		前回予想	3Q累計実績	通期予想	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	2,256	2,800	2,362	3,100	+844	+37%	+300	+11%
売上高	2,512	2,500	1,916	2,600	+88	+4%	+100	+4%
売上総利益	799	825	580	770	-29	-4%	-55	-7%
率	31.8%	33.0%	30.3%	29.6%	-2.2pt	-	-3.4pt	-
営業利益	265	285	147	190	-75	-28%	-95	-33%
率	10.6%	11.4%	7.7%	7.3%	-3.3pt	-	-4.1pt	-
経常利益	286	285	145	190	-96	-34%	-95	-33%
率	11.4%	11.4%	7.6%	7.3%	-4.1pt	-	-4.1pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	167	200	91	185	+18	+11%	-15	-8%
率	6.6%	8.0%	4.8%	7.1%	+0.5pt	-	-0.9pt	-
1株あたり配当金（円）	164	164	-	152	-12	-	-12	-

>> EV関連費用等の一過性要因（▲58億円）により営業利益190億円（前回予想比▲95億円）へ下方修正  
 → 来期からの早期挽回を図る



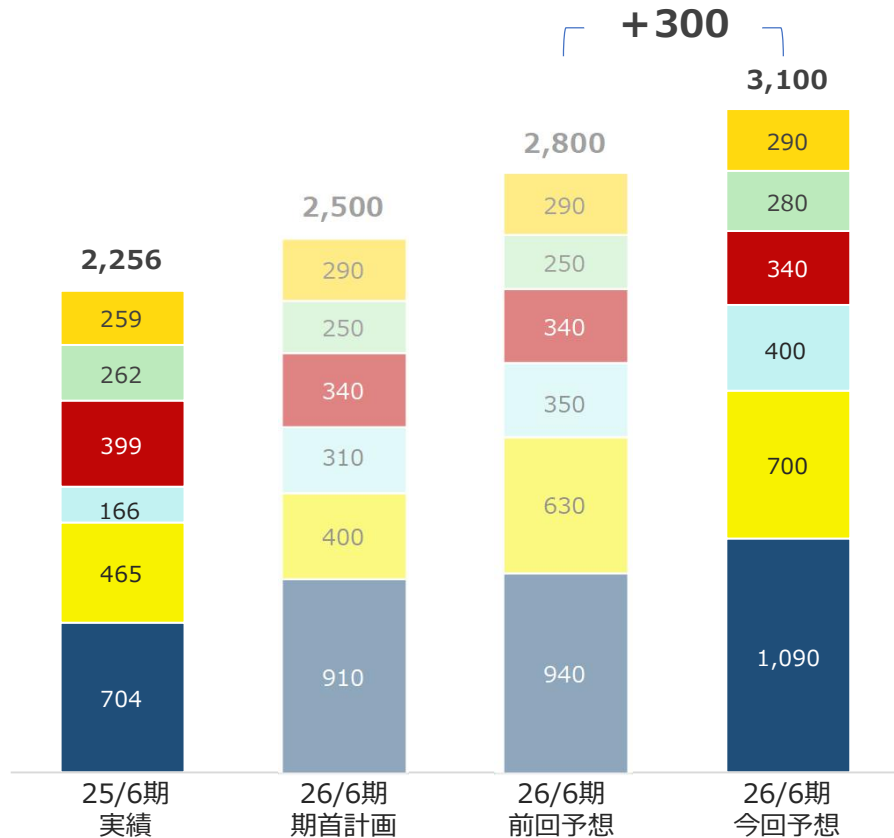
# 品目別 受注高・売上高予想の修正

- » 受注高：半導体電子、ディスプレイ、一般産業、マテリアル増加により3,100億円（過去最高）へ上方修正
- » 売上高：受注高増加に伴い、ほぼ全ての品目において前回予想を上方修正

## 受注高

【単位：億円】

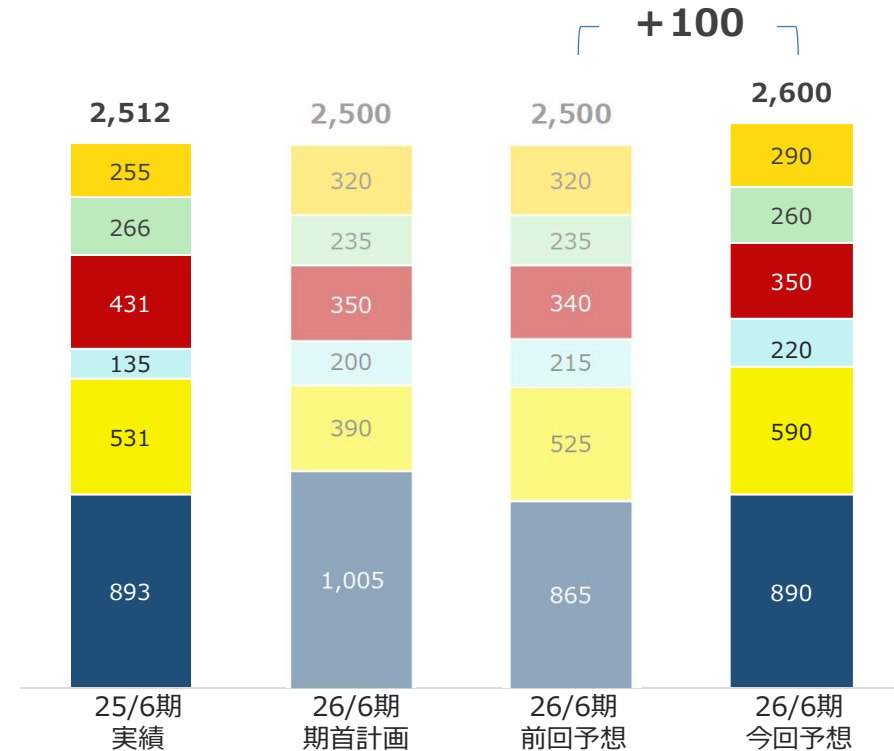
- 半導体及び電子部品製造装置
- ディスプレイ・エネルギー関連製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- マテリアル
- その他



## 売上高

【単位：億円】

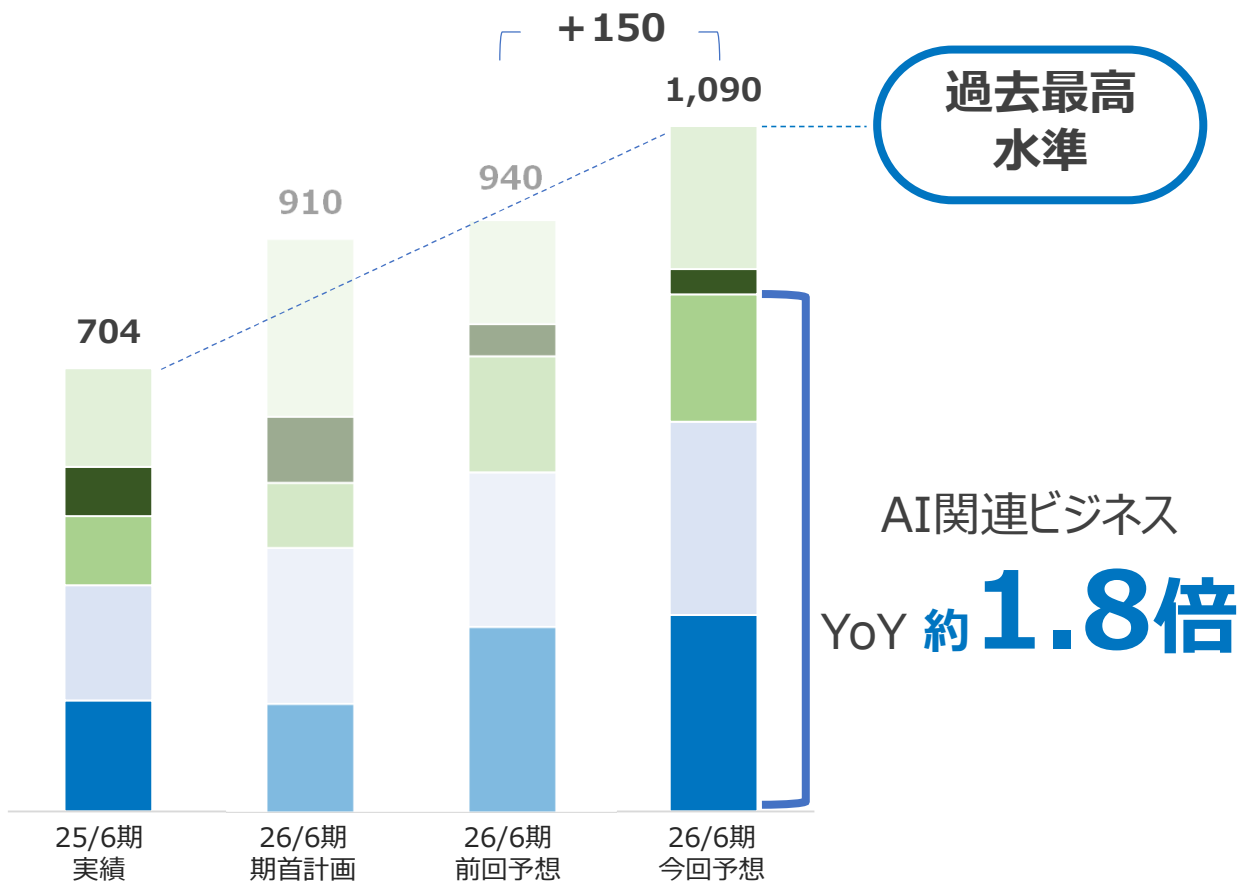
- 半導体及び電子部品製造装置
- ディスプレイ・エネルギー関連製造装置
- コンポーネント
- 一般産業用装置
- マテリアル
- その他



## 受注高

【単位：億円】

■ ロジック ■ メモリ ■ パッケージング ■ パワーデバイス ■ 電子部品



## 増減要因（期首計画比）

### ロジック（+81%）

- 成熟ノードMHM工程の投資拡大加速

### メモリ（+24%）

<DRAM>（+34%）

- AI需要増加によるトップ3メーカーの投資拡大

<NAND・不揮発性メモリ>（±0%）

- 次世代向け投資継続

### パッケージング（+96%）

- 生成AI向けWLP好調持続、PLP開発投資本格化

### パワーデバイス（▲62%）

- 顧客からの遅延要請等もあり、受注タイミングが遅延傾向

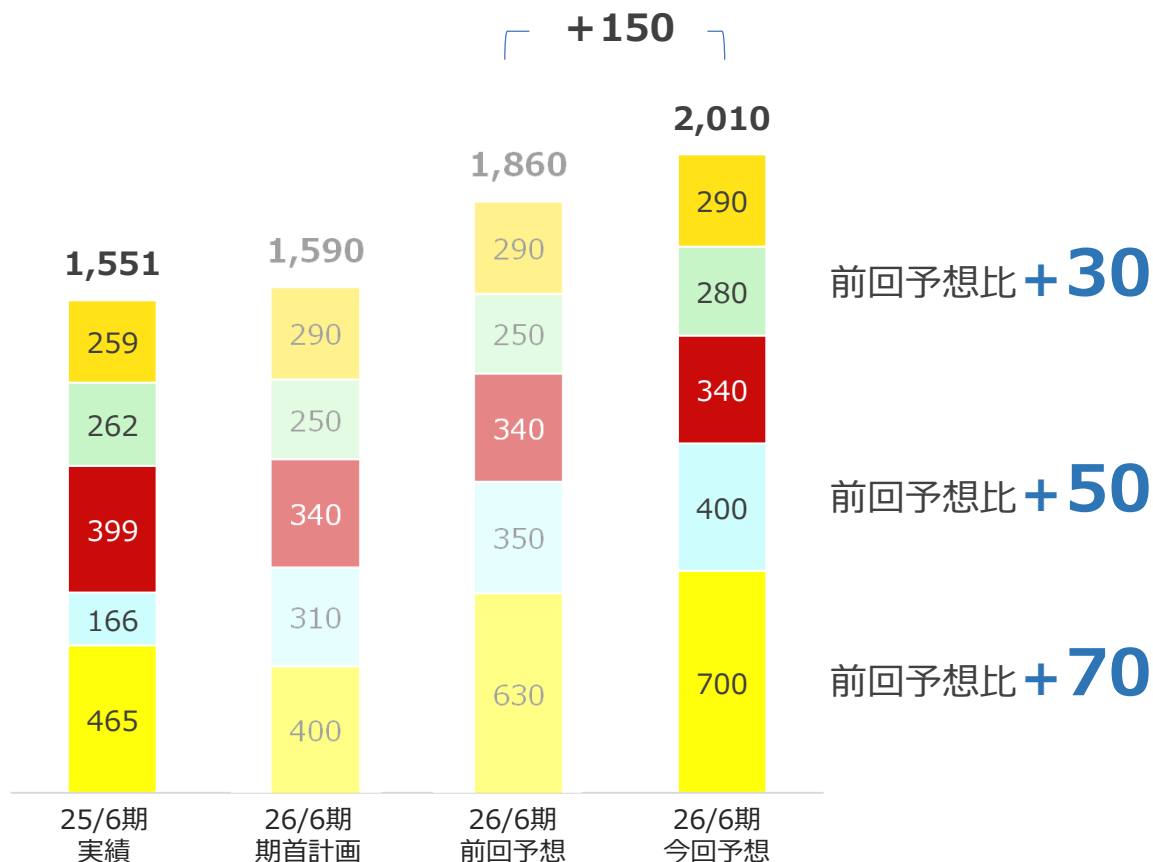
### 電子部品（▲19%）

- オプトデバイス案件は収益性を重視し、受注機種を限定

## 受注高

【単位：億円】

■ ディスプレイ ■ 一般産業 ■ コンポーネント ■ マテリアル ■ その他



## 増加要因（期首計画比）

### ディスプレイ（+75%）

- ITデバイス用OLEDの基板大型化（G8.7等）に伴い低温成膜・低パーティクル技術が評価され受注拡大
- 既設ライン向けの追加設備・改造・サービス案件の着実な積上げ

### 一般産業（+29%）

- レアアース磁石需要急増×各国量産ライン新設による市場拡大
- 主要工程の圧倒的シェア・統合エンジニアリング力で受注獲得

### マテリアル（+12%）

- ディスプレイ、半導体電子の高稼働率継続による増加

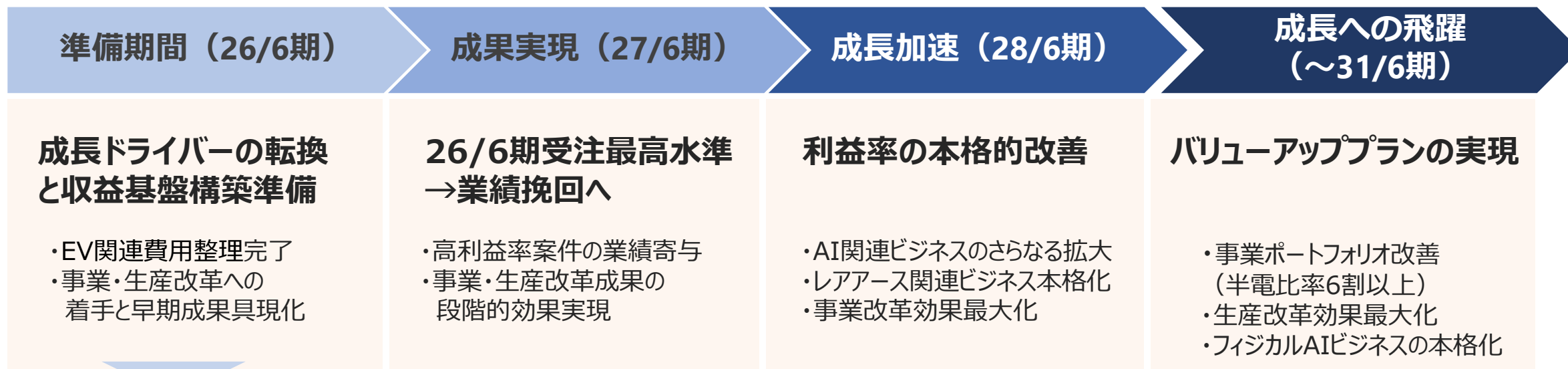
品目	投資動向	CY26
半導体 ロジック・メモリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>DRAM：AI需要増加によるトップ3メーカー投資拡大</li> <li>NAND：次世代向け投資継続</li> <li>ロジック：成熟ノードMHM工程の投資拡大、先端ノード投資堅調</li> </ul>	
各種電子デバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>生成AI向けWLP好調持続、Hybrid bonding向け投資期待</li> <li>PLP開発投資の本格化</li> <li>光電融合技術の開発加速</li> </ul>	
パワーデバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国大手デバイスメーカー中心に8inchSiC投資の引き合い増加も顧客からの遅延要請等もあり受注タイミング遅延傾向</li> </ul>	
ディ스플레이	<ul style="list-style-type: none"> <li>OLED面積拡大化による投資増加</li> <li>設備追加・改造案件による持続的貢献</li> </ul>	
一般産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>レアアース磁石関連の事業拡大の機会到来</li> </ul>	
コンポーネント・マテリアル・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体電子等における各種設備投資継続により安定基盤ビジネスとして堅調に推移</li> </ul>	



| 2026年6月期第3四半期 連結業績

| 2026年6月期 業績予想

| **中長期経営計画（バリューアッププラン）進捗**



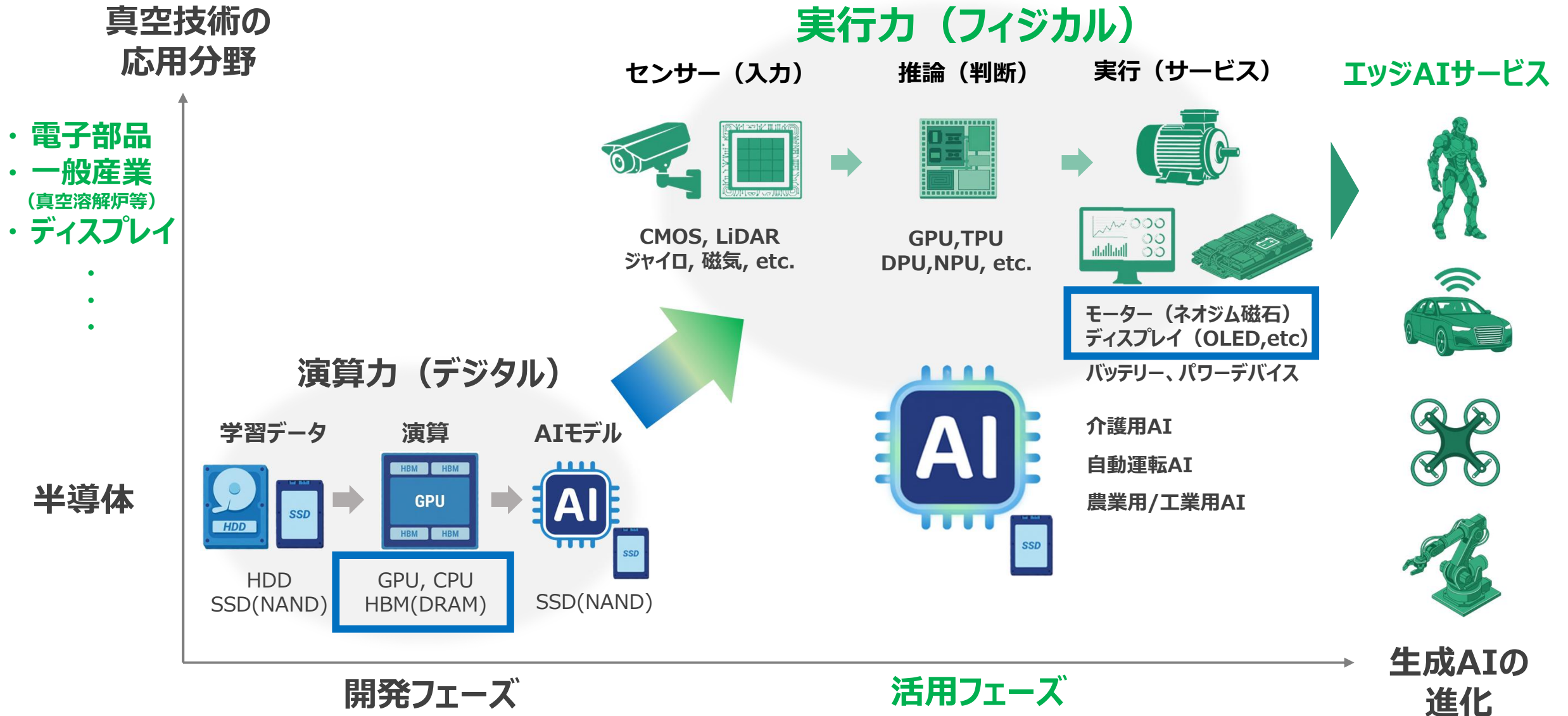
受注高  
過去最高水準**3,100**億円

売上高 **2,600**億円  
営業利益 **190**億円  
営業利益率 **7.3%**

改革の進化 → 収益性が確実に上昇

売上高 **2,600**億円  
営業利益 **390**億円  
営業利益率 **15%**

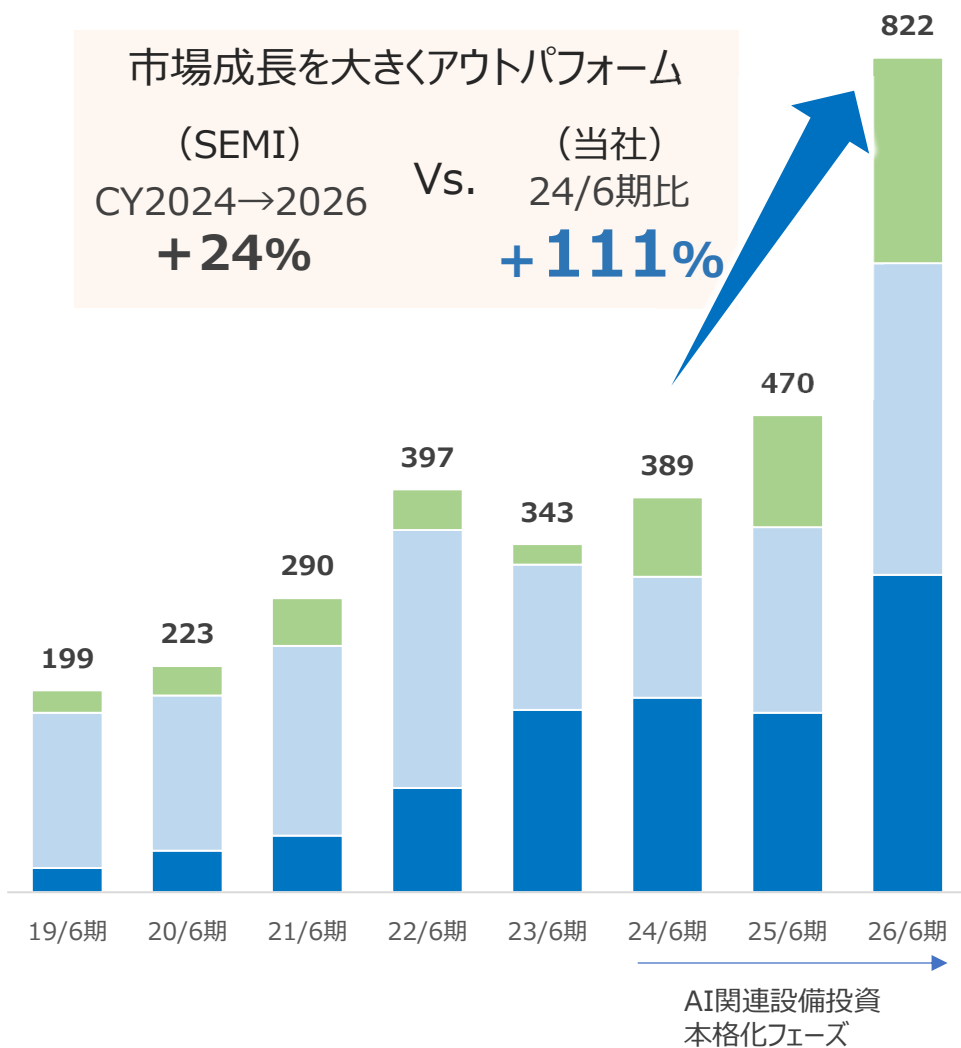
売上高 **3,600**億円  
営業利益 **790**億円  
営業利益率 **22%**



## 受注高推移

【単位：億円】

■ ロジック ■ メモリ ■ パッケージング



## 先端パッケージング ～新市場の開拓～



- WLPビジネスにおけるデスカム工程でデファクト化、生産能力増強による投資継続
- 市場拡大が見込まれるPLP関連ビジネスを先行奪取

## メモリ ～成長の加速～



- POR獲得実績のデバイス世代交代・新工場展開での採用
- 大手メモリメーカーの工場拡張に伴う装置需要拡大

## ロジック ～収益の柱～



- 成熟ノードMHM工程で圧倒的シェア確立（デファクト化）
- 次フェーズの投資計画あり、高水準ビジネス継続

## 成長への布石から飛躍へ

- » ロジック・メモリの両輪で更なる新規POR獲得（金属配線・HM工程等）
- » 先端研究機関との次々世代プロセス開発中



## 市場環境



磁石は産業のチョークポイントに



CAGR約8%成長予測



サプライチェーン多角化

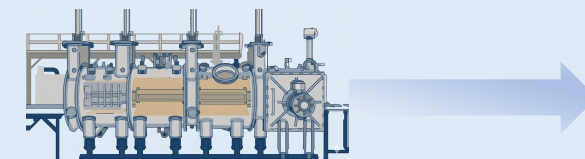
## 当社強み



1 世界的に希少な「真空加熱炉フルラインアップ」



2 主要3工程シェア70%超



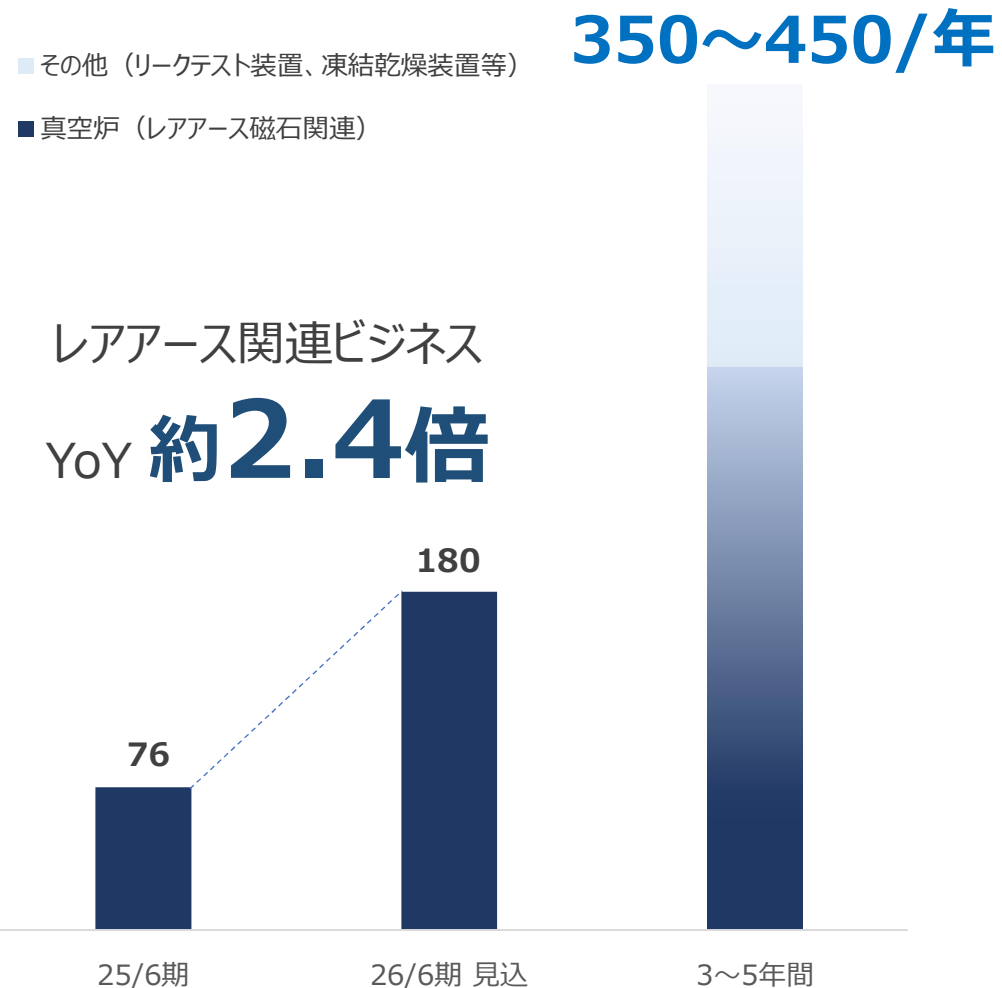
3 技術優位性：高い生産性、安定したプロセス再現性

市場成長 × 強み = 事業拡大

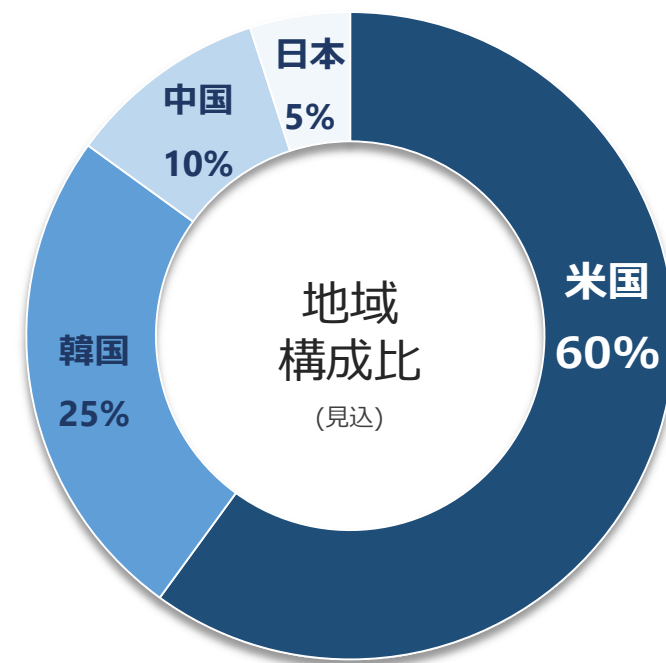
「参考」レアアース磁石関連事業の強み(技術力)等の詳細を当社HP「IRセミナー2026」に掲載しておりますのでご参照ください

## 受注高

【単位：億円】



## 26/6期 真空炉受注内訳



米国における国内生産回帰の流れが加速

## 26/6期末時点の到達見込み

連結子会社  
非連結化

**4社/8社**

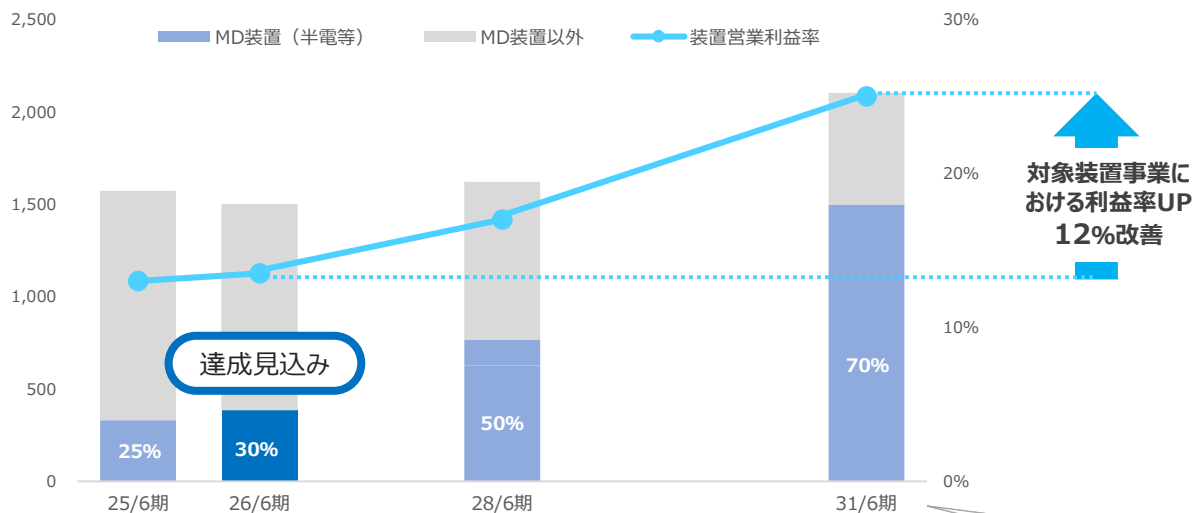
譲渡益

**約80億円**

人員適正化  
進捗率

**4割程度**

## 31/6期まで生産改革効果（対象装置事業）



## 生産改革施策

### 調達L/T短縮、変動費(率)圧縮

- 部品共通化と計画的まとめ発注で部品価格Down
- 組立予定に合わせた部品調達

### 設計工数圧縮、L/T短縮

- 図面を変えない組合せ（互換性のある設計）で顧客仕様を実現

### 製造L/T短縮、出荷台数Up、工数削減

- 標準組立と計画生産で生産最適化

### 施策の成果が早期に具現化



変動費：約**10億円**の  
戦略的圧縮の達成見込

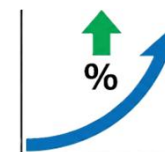


設計工数圧縮  
31/6期目標：設計L/T 70%減（24/6期比）  
約**20%減** ※31/6期目標に対し3割達成

### 31/6期に向けて

- » 生産改革施策の具現化
- » MD装置（半電）の構成比拡大
- » 製造拠点集約

**28/6期以降の加速度的な利益改善に向け、変動費・固定費圧縮をさらに推進**



- バリューアッププラン：実行フェーズに移行  
→将来成長に向けた着実な準備の進展

## 成長戦略

- ・受注高の過去最高水準更新
- ・AI関連の成長軌道への本格移行
- ・成長基盤を支えるレアアース関連ビジネスの本格化

## 事業改革/生産改革

- ・収益性改善に向けた取り組みは計画通りに実行

**ULVAC**